

土のうづくり

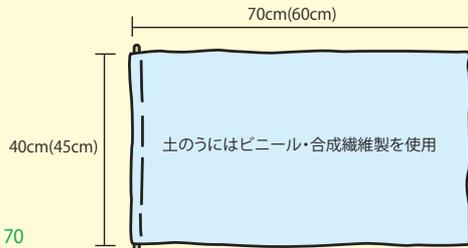
概要

水防工法の基本ともなる土のうを作る作業です。

必要な ●資材 ■工具

●土のう(ビニール・合成繊維等)

■スコップ



土のう袋

タイプA 40×70

タイプB 45×60



土砂をすくう

多量に作る作業なのでスコップの持ち方、姿勢は自分の“得手”にあった形にする。

1



土砂の袋詰め

土のう袋を持つ相手も安定した姿勢とし、片足をつき、土のうの口は両手で持ち(片方の手はひもの部分を持つ)、やや斜めに向けスコップから土砂が入りやすい格好にする。

スコップで6~7杯の土砂を入れると、袋の約6割になり、その重さは、およそ30kg。

2



土のうの口の絞り

しばり口を両手で持ち、土のうを起こしながら口を上に向け、袋の端に出ている2本のひもを引く。

★ひもの先端が結ばれている(止め結びもしくはほん結び)ことを確認する

3





土のうの口の絞り
袋の口を強く絞り片手でにぎる。

4



土のうの口の絞り
にぎった手の親指をのばし、その上を絞ったひもで2回まわす。

5



土のうの口の絞り
親指を抜いたところへ、上から下にひもを通す。



6



7

ひもを下に引きながら締め、最後は土のうの重さを利用して、上に引き上げると確実に締まる。

完成